

- 高森町では、集落を取り囲む里山である段丘林内の放置竹林、拡大竹林が景観の悪化を招くとともに防災対策、鳥獣害対策の課題となっている。
- このため、町内に2箇所のモデル地区を設定して竹林整備に継続して取り組み、**竹林整備による**景観向上と防災、鳥獣対策の効果検証を行っている。

□ 事業内容

竹林整備事業

- ・ 山吹 城坂地区
- ・ 吉田 吉田本城・古城地区

【事業費】3,849千円（うち譲与税3,849千円）

【実績】保育下刈り A = 1.51ha
向拝竹林伐採処理 A = 0.3ha

町有林等保育事業

【事業費】6,172千円（うち798千円）

【実績】植栽 A = 0.45ha

□ 取組の背景

- ・ 放置竹林、拡大竹林による里山景観の悪化、斜面崩落の危険性
- ・ 倒木等による道路通行止、電線の断線による停電等の災害懸念
- ・ 里山の生息するニホンザル等による農作物被害の増加
- ・ 文化財（史跡）の荒廃による保存活用計画の策定の遅れ



天竜川と伊那谷の眺望復活（山吹）



中世城跡の歴史景観再生（吉田）

□ 工夫・留意した点

- ・ 山吹城坂地区では竹伐採後の植栽木の育成を促進するための下刈りを実施するとともに 倒木の恐れがある枯損木、ライフラインに影響を及ぼす恐れのある支障木の除去をおこなった。
- ・ 吉田本城・古城地区では史跡の現状保存に十分留意したうえ、歴史景観の再生、文化財活用の支障となる竹を伐採し破碎処理をおこなった。
- ・ 植栽樹種の選定にあたっては、地域に生育している樹種のうちから、植栽場所の地形、環境に適した樹種であるよう留意した。

□ 取組の効果

- ・ 里山の景観改善とともに本来の眺望が確保された。
- ・ 幹線道路、電線、通信線等のライフラインが保全された。
- ・ 伐採により文化財（中世城跡）の堀、土塁等の遺構が明らかとなり歴史景観の再生が進んだ。また、竹林整備事業がきっかけとなり、地域住民からなる愛護団体によるイベントが開催されるなど、住民の活動意欲の増進、愛護団体の活動が活性化した。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：4,642千円	②私有林人工林面積（※1）：593.46ha	
③林野率（※1）：56.4%	④人口（※2）：12,811人	⑤林業就業者数（※2）：14人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より